

教えて！
危機管理監

防災

を考えよう！ 中央防災倉庫
(大字松山)



避難所で使うものはどこに保管されているの？

市では食料や飲料水、毛布、粉ミルクなど、災害発生時にすぐに必要となる物資を各避難所の防災倉庫に備蓄しています。一方で浄水器や食器セット、ブルーシートなど、中長期的な避難や復旧活動に必要なものは令和5年度に完成した中央防災倉庫に保管しています。

中央防災倉庫は、災害時には国や県からの支援物資等を一括管理する拠点となるため、トラックによる搬入が可能な大きさに設計されており、より多くの物資を迅速に受け入れることができます。また、倉庫内にはフォークリフトやハンドリフトを常備しており、重量のある物資や大量の備蓄品を効率的に搬入・搬出できる体制を整えています。



中央防災倉庫(外観)



中央防災倉庫(内観)



倉庫内のフォークリフト



東松山市
危機管理防災課
小林危機管理監
危機管理監は、災害時の危機管理について、その知識や経験を持って、災害対策本部長である市長を補佐します。家庭でも災害に対する日頃の備えをしましょう。



市HP

☎危機管理防災課 ☎21-1405 ☎22-7799

WITH FLOWERS ~暮らしに花を~

市内には、東松山ぼたん園をはじめ「花スポット」が各所にあります。今回は、春に桜を楽しめる「野本さくらの里」をご紹介します。



ヨコハマヒザクラを楽しむ「野本さくらの里」

野本地区にある「野本さくらの里」には、約140本のヨコハマヒザクラが植えられています。地域住民74人で構成される「野本さくらの里づくりの会」の皆さんが、平成25年から地域の名所づくりとして整備を続けてきました。

さくらの里の整備は会員の手作りで行われ、あずま屋やベンチも設置されています。訪れた人は、ゆっくりと桜を楽しむことができます。

成川会長は、「横浜緋桜は、一般的なソメイヨシノとは違い、濃い紅色の花を咲かせます。堤防に咲く菜の花の黄色との美しいコントラストを楽しんでほしい」と話しています。

地域の皆さんが大切に守り育ててきたこの場所では、開花期中にライトアップも行われ、夜桜見物も楽しめます。まもなく見頃を迎えますので、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

☎地域支援課 花いっぱい推進室 ☎21-1435 ☎22-7799

ヨコハマヒザクラの特徴

横浜市で生まれたヨコハマヒザクラは、ヤマザクラ系のケンロックエンクマガイと寒緋桜の交配種で、鮮やかな濃いピンク色の一重咲き大輪の花が特徴的な桜です。葉が出る前に花が咲きます。やや下向きに、花が密集して咲くため、ボリュームがありとてもかわいらしいです。

見頃は、3月下旬～4月中旬です。

所在地：
下押垂地内ほか
(新東松山橋北側)

まちかど スケッチ

歩いて、探して、親子で楽しむ



1月17日(土)、親子で楽しむ「親子ウォーキング」 in市農林公園を開催しました。公園周辺を歩きながら、親子で会話を楽しみ、笑顔があふれるイベントとなりました。コース途中では「ウォーキングビンゴ」に挑戦し、子どもたちはマスを探して大はしゃぎ。ゴール後にビンゴ景品をもらった後、いちご摘み取り体験をして、親子で楽しい一日となりました。



いろんなスポーツ、楽しかったよ！



1月24日(土)、南地区体育館で小学1～3年生を対象に「スポーツ発見教室」を開催しました。

参加者は、大東文化大学の学生スタッフからダンスやスラックライン、かけっこなどの遊びを通して、学校では体験できないスポーツの楽しさを教わりました。



この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真や写真データを差し上げます。

ミニミニ情報

人口と世帯(2月1日現在)

人口	91,060人	(-119)
男	45,633人	(-60)
女	45,427人	(-59)
出生(1月中)	34人	(-5)
死亡(1月中)	123人	(+27)
転入等(1月中)	281人	(-25)
転出等(1月中)	311人	(+12)
世帯数	44,209世帯	(-35)

* ()は前月比

交通事故発生件数(1月中)

発生件数	372件*
人身事故	34件(死者:0人、けが人:39人)
物損事故	338件

*東松山警察管内(東松山市、滑川町、川島町、吉見町)の件数

火災と救急件数(1月中)

火災件数	5件
救急件数	521件(交通:21件、急病:337件、その他:163件)
搬送人員	449人

高齢者等家庭ごみの戸別収集に関する情報

令和8年2月から高齢者等家庭ごみの戸別収集が始まりました。詳細は4ページをご確認ください。

実施件数 34件(2月2日時点)



申請方法はこちら▶

市HP



のちのち園長
野口幸子園長

念願のミーアキャットの繁殖

昨年の3月と11月、ミーアキャットの赤ちゃんが生まれました。現在はすくすくと育ち、家族で仲良く過ごす姿を見ることができます。この光景を目にするたびに、私自身、長い時間をかけて向き合ってきた日々を思い出します。

当園では2000年からミーアキャットの飼育を行い、2008年には繁殖に成功しました。しかしその後は、思うような結果が出ない時期が続きました。飼育環境の見直しや巣箱の設置場所の工夫、野生での習性に近づけるために土の中に土管を入れてトンネルを作るなど、担当スタッフと話し合いながら試行錯誤を重ねてきました。それでも出産に至っても育児につながらず、悔しさを感じたこともあります。

やがて当園のミーアキャットは最後の1頭となり、このままでは飼育を終えることになるかもしれないという状況に直面しました。そこで他の動物園に協力を仰ぎ、2024年によこはま動物園から6頭の群れを、さらに智光山公園子ども動物園からオス1頭を導入し、新たなペアで繁殖に再挑戦することにしました。

ペアの様子がとても良いと聞いていたこともあり、今度こそと願っていたある日、担当スタッフから妊娠の可能性があるとの報告を受けました。数日後、赤ちゃんの音が聞こえ、姿も確認できたときには、思わず「やった」と声が出ました。

過去に、生後まもなく母親が育児放棄してしまった経験があるため、その後はとにかく静かで落ち着いた環境づくりを最優先にし、ただ見守る時間が続きました。「落ち着いて子育てをしています」との報告を受けた時、ようやく肩の力が抜けたことを覚えています。

これから繁殖が続けば、群れはさらに大きくなりますが、いずれ争いも起こり、群れを分けなければならない時もあるでしょう。それでも今は、念願だった親子のミーアキャットが寄り添う姿を、皆さんと一緒に静かに見守っていきたいと思います。*4月号は植物ZOO鑑です。



園長おすすめ ~ミーアキャット~



ミーアキャット舎



生後20日頃



生後1か月頃



家族そろって日光浴

